

# 犬パルボウイルス(CPV)

大阪ラボ

- ワクチン効果、防御能の判定には犬ワクチンセット(18ページ参照)をご利用ください。
- ★ 検査材料は遺伝子専用としてお送りください。
- 遺伝子以外の項目と重複している場合は必ず遺伝子用に検査を分けてください。

項目名	検査材料	送付方法	所要日数	検査方法	検査項目の説明、注意事項
CPV 野外株遺伝子 ★	糞便 ↓ 適量	常温 冷蔵	4日 以内	PCR	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. CPV野外株を高感度に検出します(抗原検査に比べ数百倍以上高感度です)。</li> <li>2. CPV野外株(2a、2b、2c型、いわゆるNewタイプ)を特異的に検出します。</li> </ol> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center; color: white; background-color: red; margin: 0;">ワクチンの影響</p> <p style="color: red; font-weight: bold;">2bタイプワクチンを接種した2週間以内の犬には適応できません。</p> </div>
	全血 EDTA処理 0.4mL ・ 血清・血漿 0.4mL				
CPV HI抗体	血清・血漿 0.1mL			HI	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. CPVワクチン未接種の幼齢犬(4ヶ月齢以下)の場合のみ本検査での診断が可能です。</li> <li>2. ワクチン未接種で以下の場合に感染が強く疑えます。            1ヶ月齢⇒5,120以上            2ヶ月齢⇒640以上            3ヶ月齢⇒80以上            4ヶ月齢⇒10以上</li> </ol>

● 2021年1月から、CPV IgM抗体検査は中止になりました。

## 【CPV 感染後の抗体、遺伝子、白血球数の変化】

